

令和2年2月12日

## 一般社団法人京都府タクシー協会からのお知らせ

京都府タクシー協会では、昨年につき令和2年2月6日（木）、ハートピア京都において、京都市身体障害者団体連合会及び京都府身体障害者団体連合会が一堂に会し、タクシーと障がい者の共生についての意見交換会を開催いたしました。

今年は、東京オリンピック・パラリンピックが開催されますが、東京オリンピック開幕まで「あと169日」となる中、ユニバーサル社会実現に向けた取組みについて、より一層の充実・強化が求められているところです。

京都府タクシー協会でも従来から様々な形で、ハード・ソフトの両面からユニバーサル社会実現に向けた取組みを進めてまいりましたが、未だ様々な課題が残されていると認識しています。

今般、障がい者の皆さま方から日常のタクシー利用にあたってのご要望をお聞かせいただくとともに、タクシー業界の取組みの現状もご報告させていただくなど、相互の情報交換及び意見交換を踏まえ、タクシーが障がい者の皆さんにとってより身近で便利な乗り物となるための重要な機会と位置付け、意見交換会を開催いたしました。

つきましては、障害者団体から提案された議題について、京都府タクシー協会として基本的な事項として回答したところですが、タクシー業界全体で情報共有する必要があることから、この度、京都府タクシー協会のホームページに公表いたしましたので、お知らせします。